

b) H 地区

確認した貴重な動物種の確認一覧を表 6.1.4-4 に、確認位置を図 6.1.4-3 に示した。

H 地区で確認した貴重な動物種は、哺乳類は [] や [] など 3 種、鳥類は [] や [] など 9 種、爬虫類は [] や [] など 4 種、両生類は [] や [] など 8 種、昆虫類は [] や [] など 7 種、甲殻類は [] の 1 種、クモ類は [] [] 及び [] の 2 種、陸産貝類は [] や [] など 14 種が確認され、全分類群では 19 目 33 科 48 種となった。

表 6.1.4-4 貴重な動物種の確認状況(H地区)

No.	分類群	目名	科名	種または亜種名	学名	確認状況 (H地区)	指定状況 ^{注2)}				
						令和2年度 春季	天然 記念物	種の 保存法	環境省	沖縄県	
1						3					NT
2						1			EN		EN
3						掘り返し20 足跡1 糞2					VU
4						10	国天	国内	CR		CR
5						1			VU		VU
6						8					NT
7						1					NT
8						11					NT
9						29 幼鳥1 掘りかけ2 巣跡35 採餌痕36	特天	国内	CR		CR
10						8					NT
11						47 幼鳥2 営巣1 巣跡6	国天	国内	EN		EN
12						3					EN
13						25	国天		VU		EN
14						2	県天	国内	VU		VU
15						7			VU		VU
16						1			VU		VU
17						6 幼体6 幼生106 卵4	県天	国内	VU		VU
18						144 幼体11 幼生17			NT		NT
19						1					NT
20						1			NT		VU
21						幼生43					
22						1	県天	国内	EN		EN
23						26 幼生2			VU		EN
24						6 幼生43	県天	国内	EN		EN
25						11 幼生35 卵塊29	県天	国内	EN		EN
26						4			NT		NT
27						18			NT		NT
28						2			NT		
29						1			NT		
30						1			NT		
31						4			NT		
32						3			NT		
33						1	国天				
34						巢穴318			VU		VU
35						4					NT
36						1					注1)
37						1			VU		NT
38						55			VU		
39						92					VU
40						1			VU		CR+EN
41						7			NT		
42						14			NT		NT
43						12					注1)
44						1			NT		NT
45						1			VU		VU
46						8			VU		VU
47						28			VU		
48						6			VU		CR+EN
-	-	19目	33科	48種		48種	10種	8種	34種		38種

注1) 小型コウモリ類は、飛翔個体の目撃など種の同定に至らなかったが当該地域に生息する全種が貴重種であることから貴重種として扱った。
 注2) 1の一種については、野外で同定困難な複数種を含む可能性があることから、カテゴリ指定状況を示せな

- かった。
 注3) 貴重種指定状況のカテゴリを以下に示す。
 * 環境省：「環境省レッドリスト2020」(2020)環境省
 * 沖縄県：「改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物（レッドデータおきなわ）第3版-動物編-」(2017年 沖縄県)
 I A (CR)→絶滅危惧 I A類（絶滅の危機に瀕している種-ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの）
 I B (EN)→絶滅危惧 I B類（絶滅の危機に瀕している種-I A類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの）
 II (VU)→絶滅危惧 II類（絶滅の危険が増大している種-現在の状態をもたらし続けた圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧 I 類」のランクに移行することが確実と考えられるもの）
 準 (NT)→準絶滅危惧（存続基盤が脆弱な種-現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの）
 地域 (LP)→地域個体群（地域的に孤立しており、地域レベルでの絶滅のおそれが高い個体群）
 * 種の保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成4年法律75号）
 国内-国内希少野生動植物種（本邦に生息し又は生育する絶滅のおそれのある野生動植物の種）
 * 天然記念物：「文化財保護法」（昭和25年法律214号）
 特天→特別天然記念物 国天→国指定天然記念物 県天→県指定天然記念物

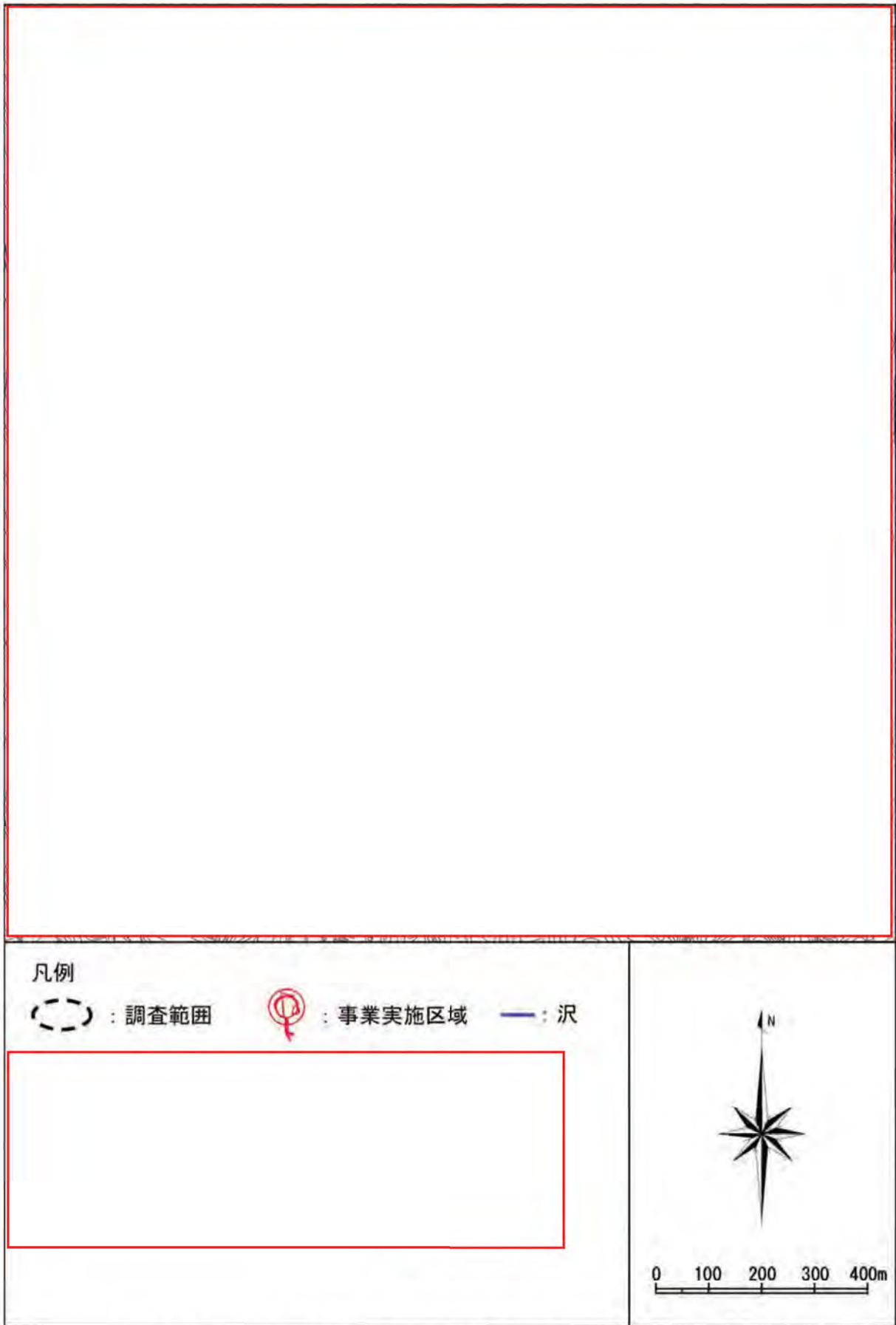


図 6.1.4-3(1) 貴重な動物種の確認位置(H地区：哺乳類・甲殻類・クモ類)

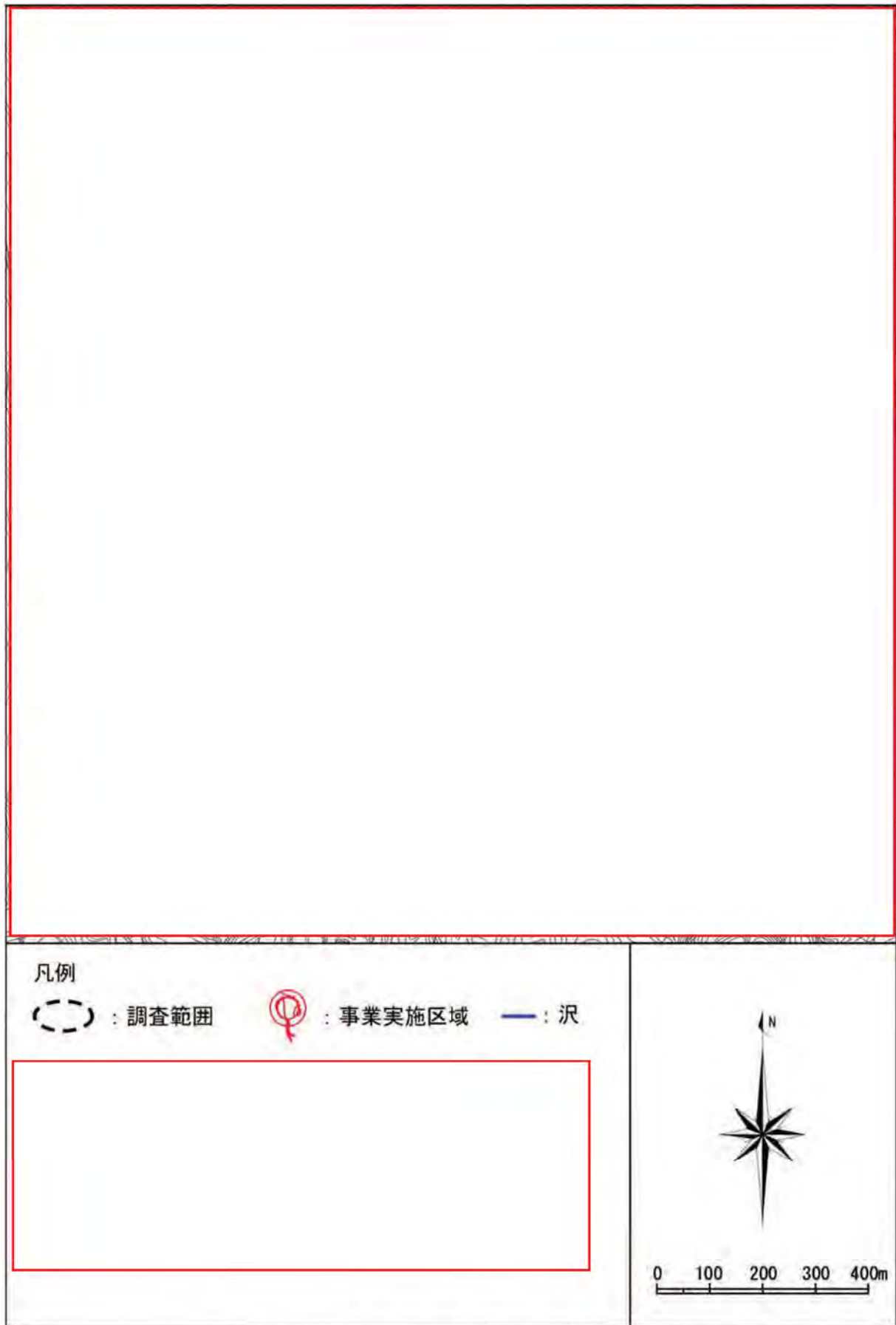


図 6.1.4-3(2) 貴重な動物種の確認位置(H地区：鳥類)

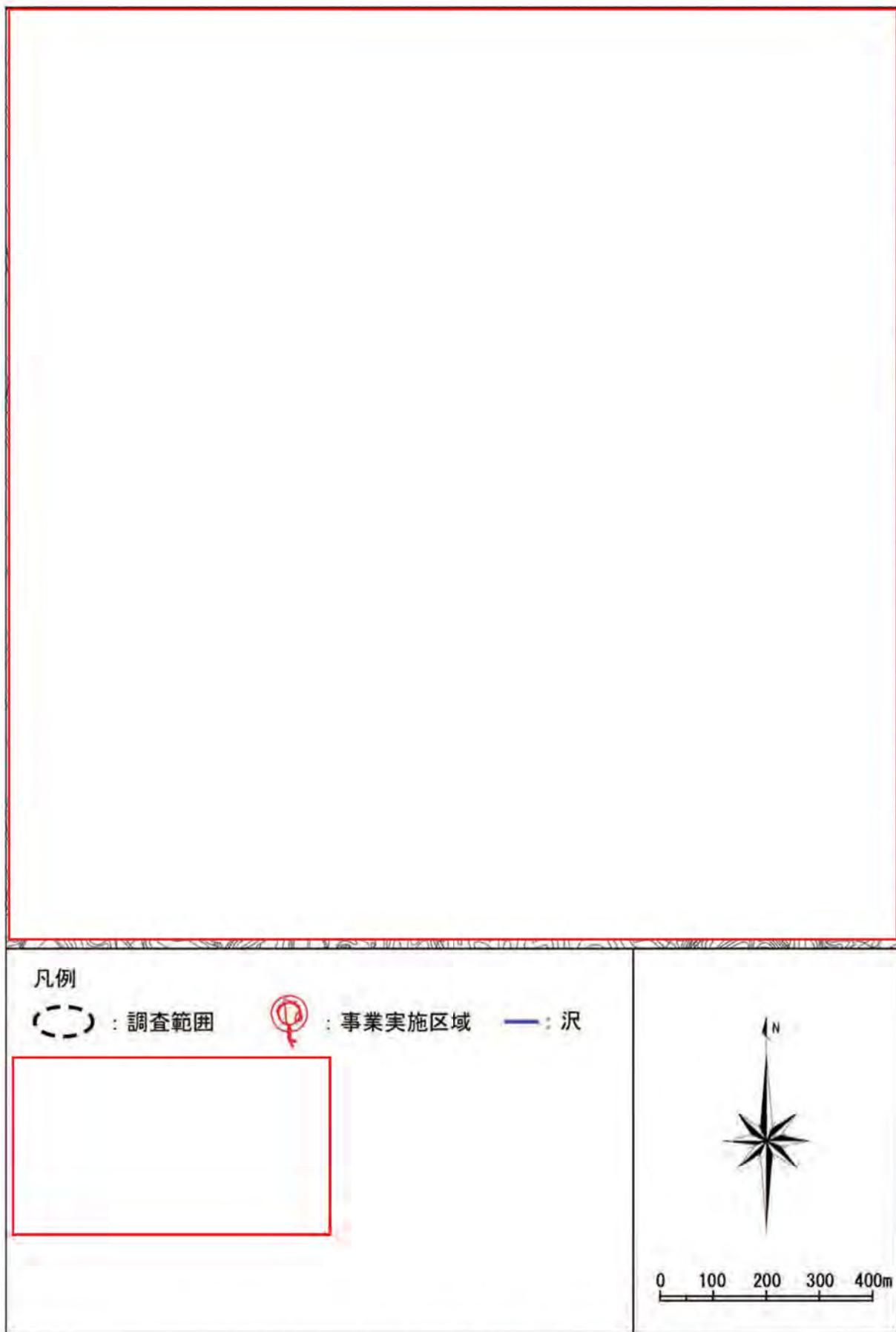


図 6.1.4-3(3) 貴重な動物種の確認位置(H地区:爬虫類)

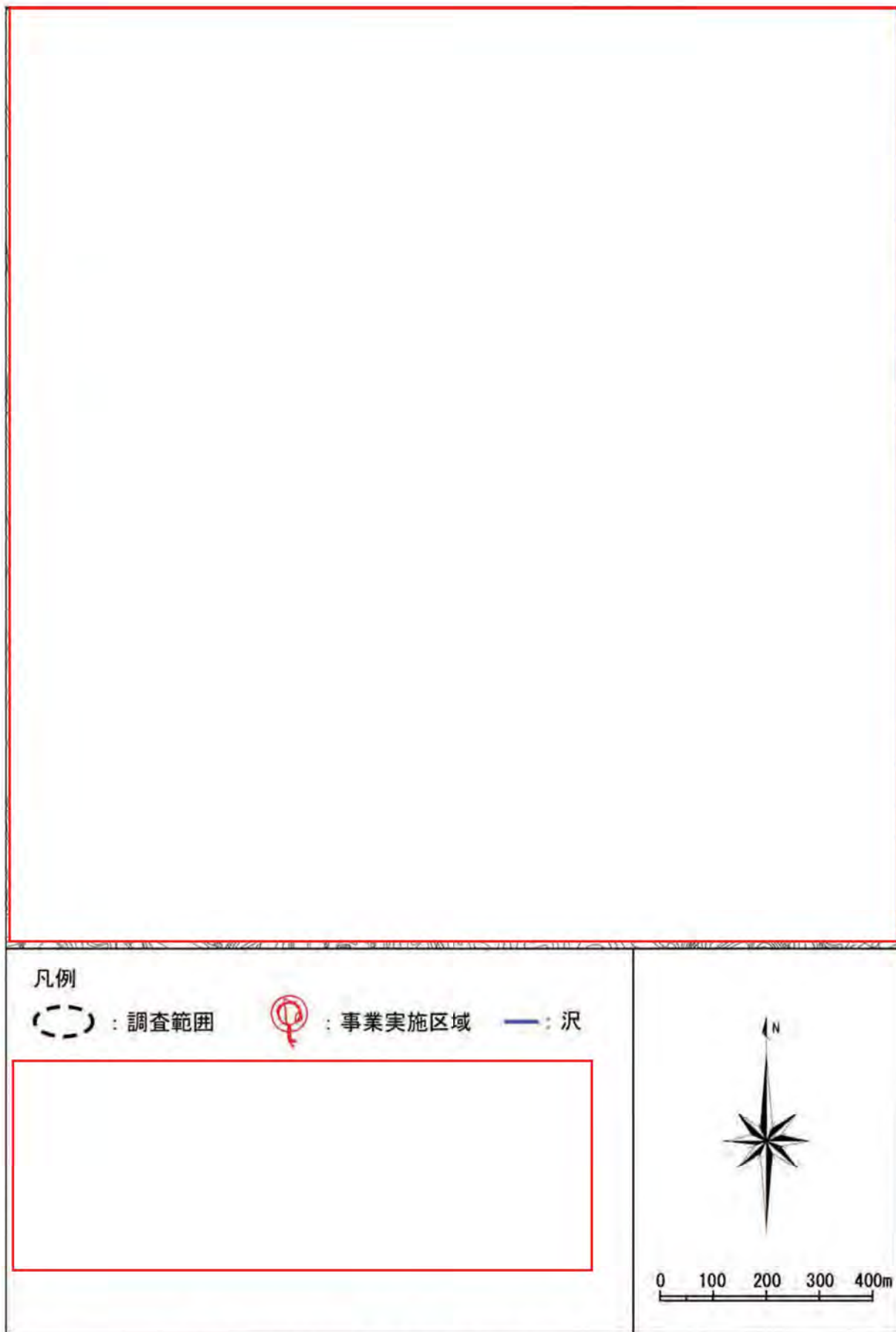


図 6.1.4-3(4) 貴重な動物種の確認位置(H地区：両生類)

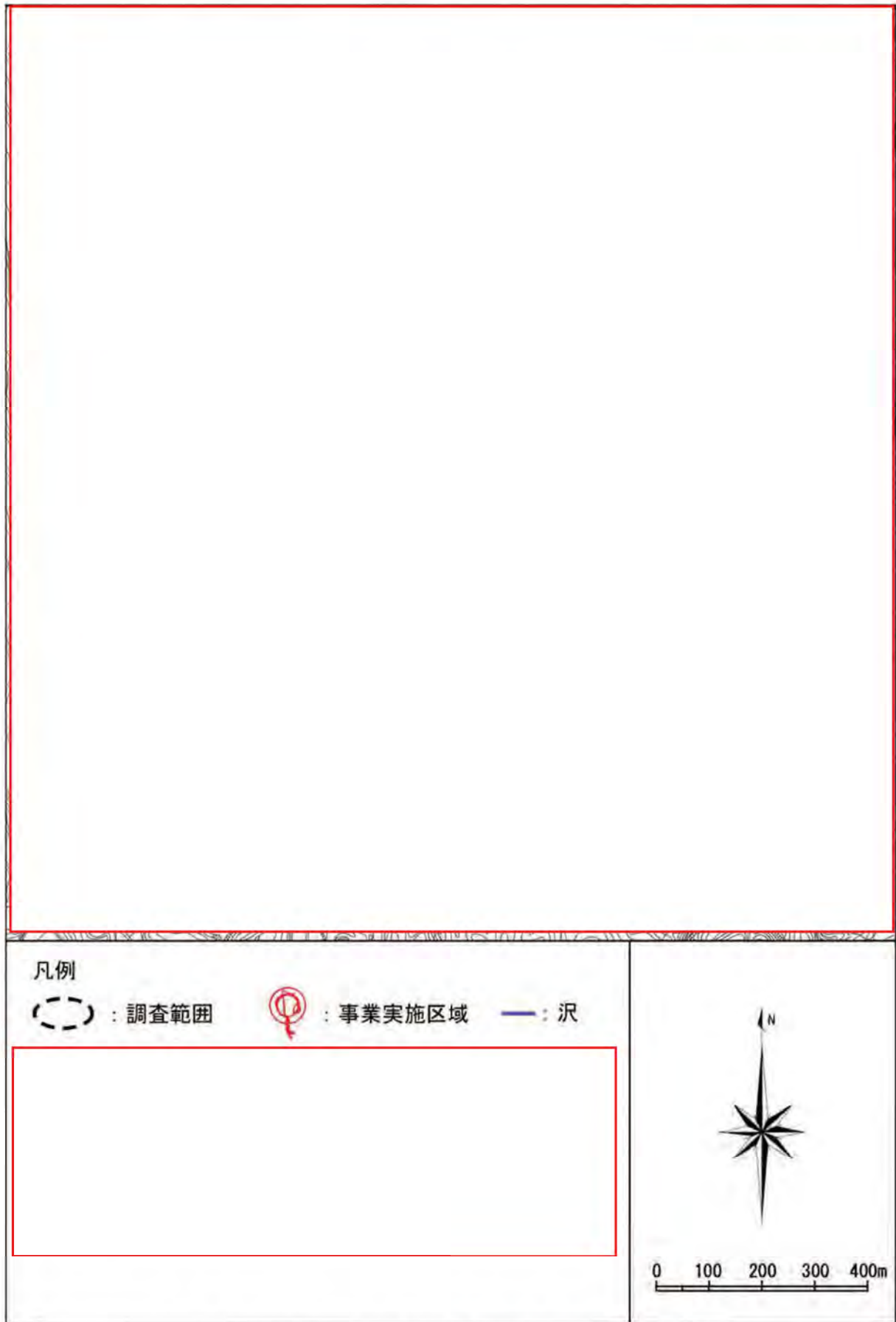


図 6.1.4-3(5) 貴重な動物種の確認位置(H地区：昆虫類)

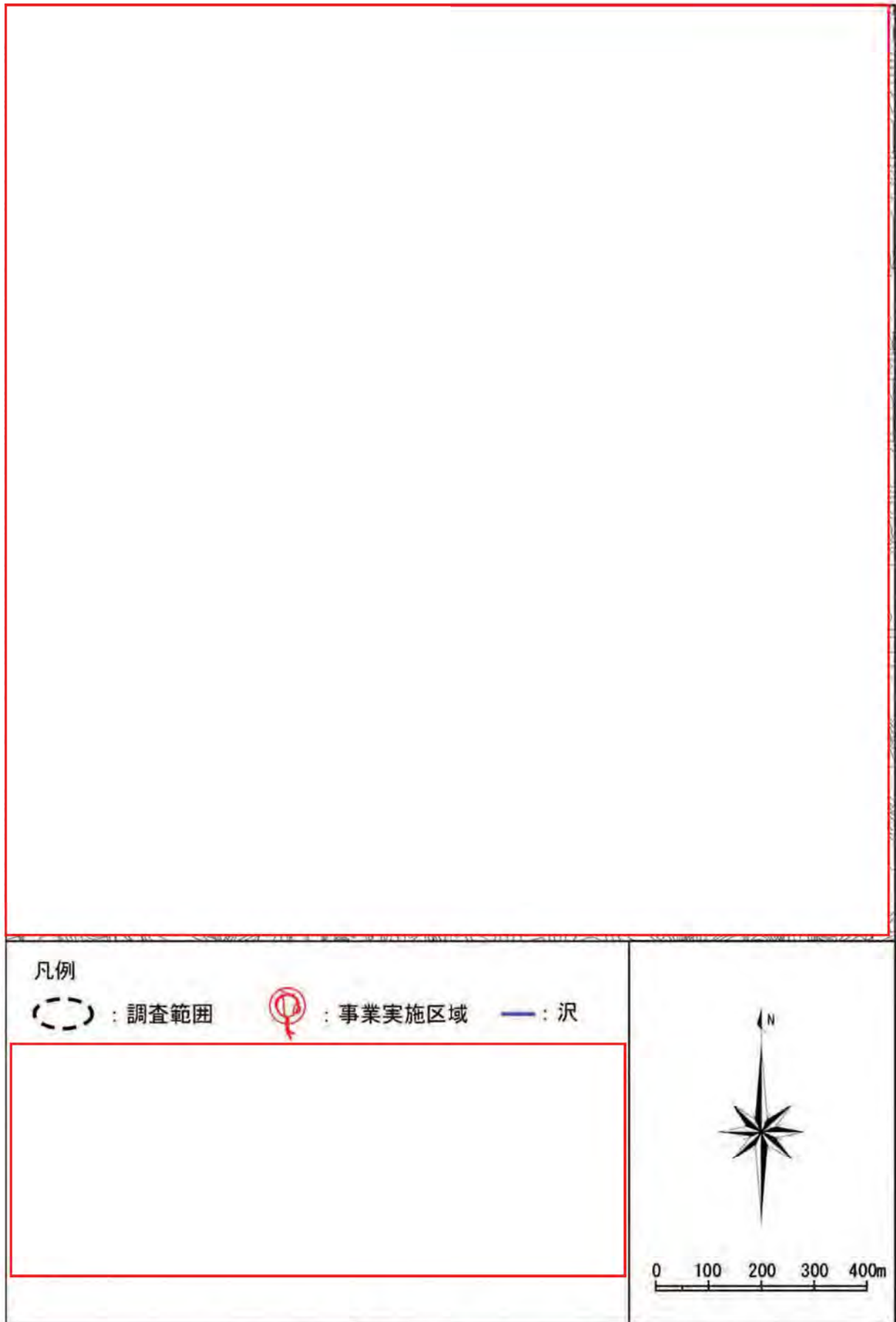


図 6.1.4-3(6) 貴重な動物種の確認位置(H地区：陸産貝類)

c) N-1 地区

確認した貴重な動物種の確認一覧を表 6.1.4-5 に、確認位置を図 6.1.4-4 に示した。

N-1 地区で確認した貴重な動物種は、哺乳類は [] 及び []
[] の 2 種、鳥類は [] や [] など 9 種、爬
虫類は [] や [] など 3 種、両生類は []
[] や [] など 7 種、昆虫類は [] や []
[] など 4 種、甲殻類は [] 1 種、クモ類は [] や []
[] など 3 種、陸産貝類は [] や []
[] など 13 種が確認され、全分類群では 20 目 29 科 42 種となった。

表 6.1.4-5 貴重な動物種の確認状況(N-1 地区)

No.	分類群	目名	科名	種または亜種名	学名	確認状況 (N-1地区)	指定状況 ^{注2)}			
						令和2年度 春季	天然 記念物	種の 保存法	環境省	沖縄県
1						1				NT
2						1 掘り返し10 糞2				VU
3						1			VU	
4						15	国天	国内	CR	CR
5						11				NT
6						1				NT
7						11 巣跡1				NT
8						23 幼鳥2 営巣5 掘りかけ5 巣跡31 採餌痕49	特天	国内	CR	CR
9						14				NT
10						43 巣跡4	国天	国内	EN	EN
11						9				EN
12						31 幼体1	国天		VU	EN
13						1				NT
14						3 幼体2			VU	VU
15						1 幼生39 卵47	県天	国内	VU	VU
16						80 幼生81			NT	NT
17						4 幼生18			NT	VU
18						1 幼生16	県天	国内	EN	EN
19						26 幼体1 卵塊6			VU	EN
20						10 幼体1 幼生109	県天	国内	EN	EN
21						4 幼体2 幼生32 卵塊1	県天	国内	EN	EN
22						2				NT
23						2				NT
24						1				NT
25						1				NT
26						1	国天			
27						巢穴136			VU	VU
28						1				NT
29						2				VU
30						1				NT
31						60			VU	
32						103				VU
33						4			VU	CR+EN
34						1			CR+EN	CR+EN
35						7			NT	NT
36						8				NT
37						32				注1)
38						4			NT	NT
39						1				VU
40						1			VU	VU
41						6			VU	
42						12			VU	CR+EN
-	-	20目	29科		42種	42種	9種	7種	29種	33種

注1) 27の一種については、野外で同定困難な複数種を含む可能性があることから、カテゴリ指定状況を示せなかった。

注2) 貴重種指定状況の категориを以下に示す。

* 環境省：「環境省レッドリスト2020」(2020)環境省

* 沖縄県：「改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物（レッドデータおきなわ）第3版-動物編-」(2017年 沖縄県)

I A (CR)→絶滅危惧 I A類（絶滅の危機に瀕している種-ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの）

I B (EN)→絶滅危惧 I B類（絶滅の危機に瀕している種-I A類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの）

II (VU)→絶滅危惧 II 類（絶滅の危険が増大している種-現在の状態をもちたしした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧 I 類」のランクに移行することが確実と考えられるもの）

準 (NT)→準絶滅危惧（存続基盤が脆弱な種-現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの）

地域 (LP)→地域個体群（地域的に孤立しており、地域レベルでの絶滅のおそれが高い個体群）

* 種の保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年法律75号)

国内→国内希少野生動植物種（本邦に生息し又は生育する絶滅のおそれのある野生動植物の種）

* 天然記念物：「文化財保護法」(昭和25年法律214号)

特天→特別天然記念物 国天→国指定天然記念物 県天→県指定天然記念物

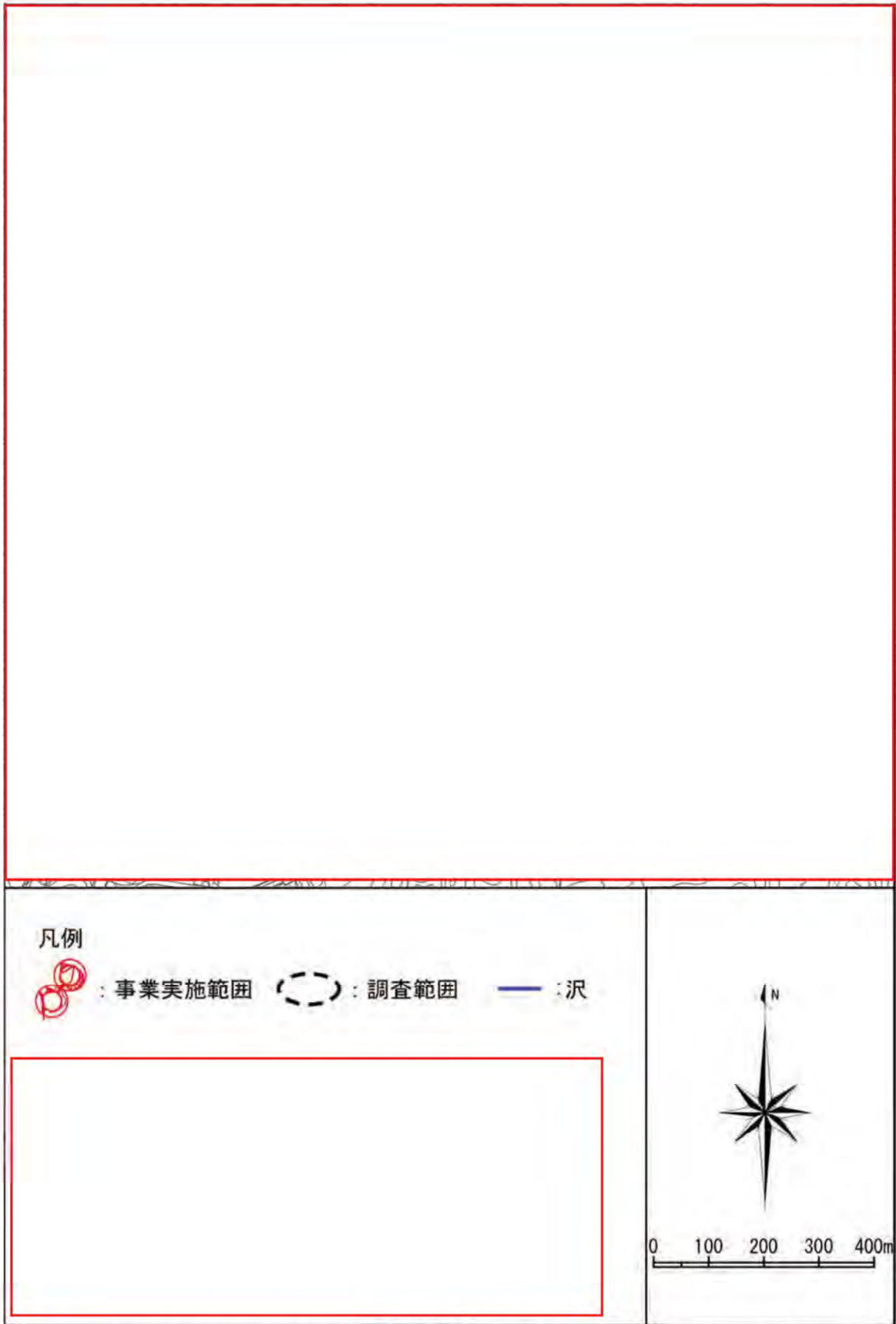


図 6.1.4-4(1) 貴重な動物種の確認位置 (N-1 地区：哺乳類・甲殻類・クモ類)

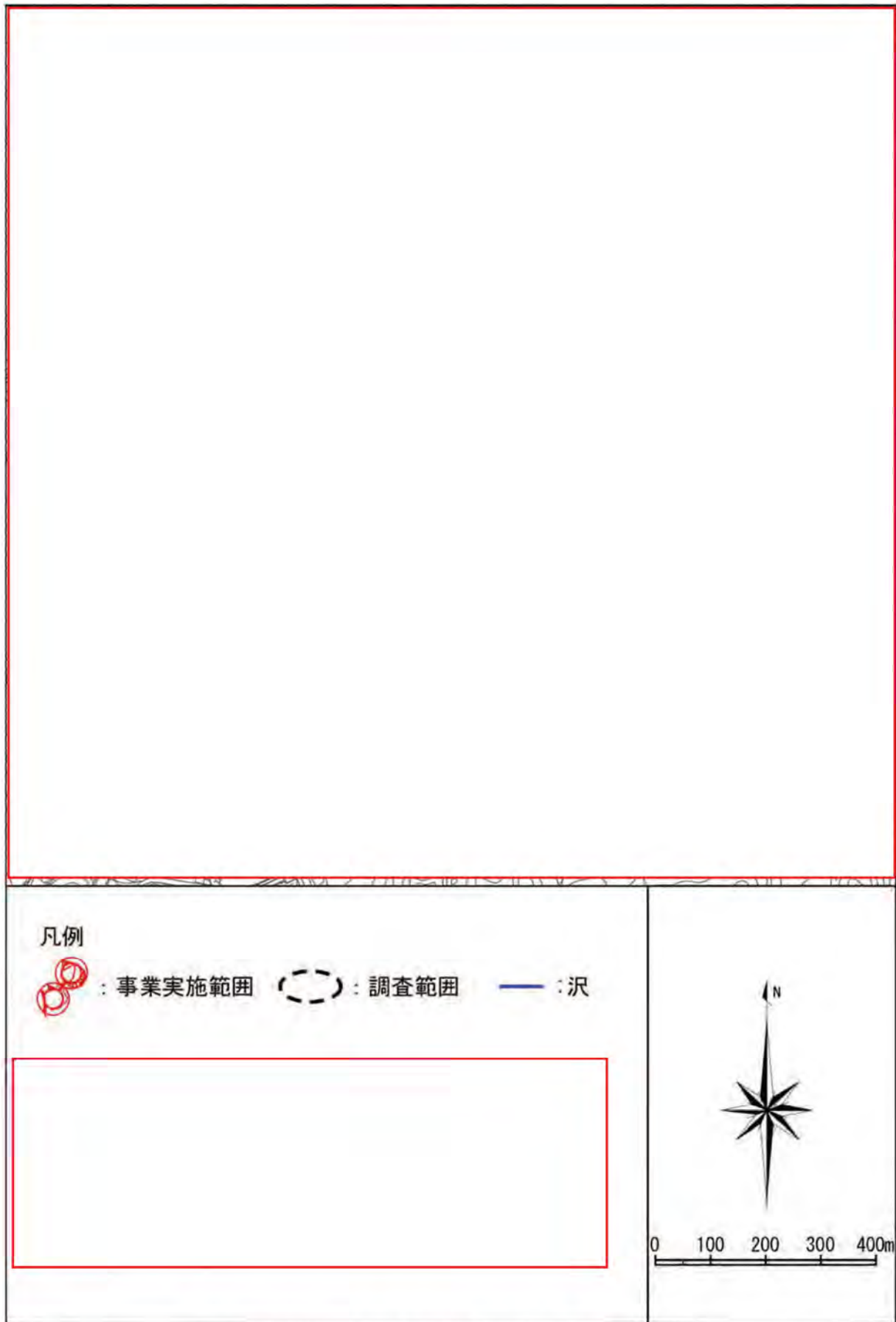


図 6.1.4-4(2) 貴重な動物種の確認位置(N-1 地区 : 鳥類)

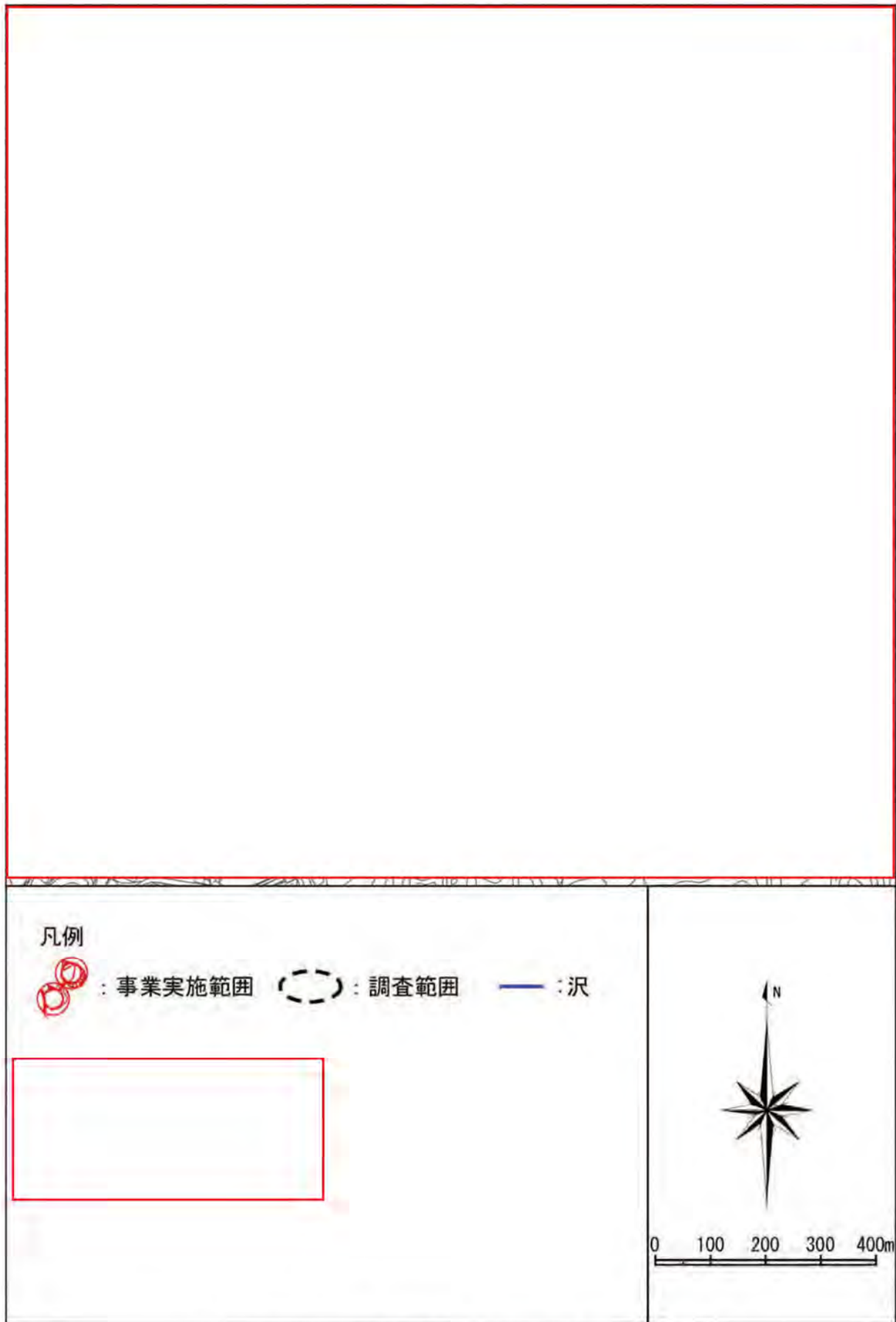


図 6.1.4-4(3) 貴重な動物種の確認位置 (N-1 地区 : 爬虫類)

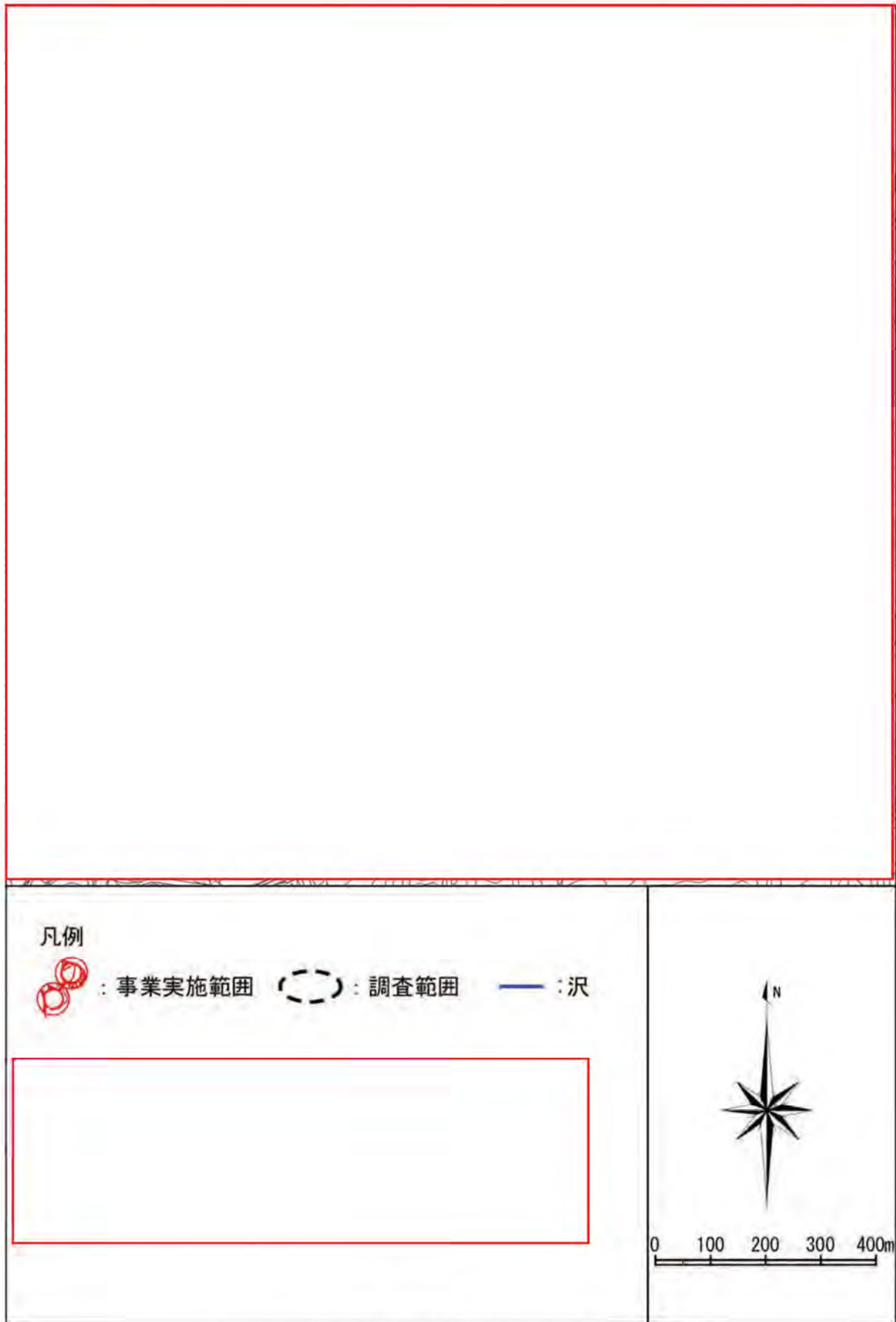


図 6.1.4-4(4) 貴重な動物種の確認位置 (N-1 地区 : 両生類)

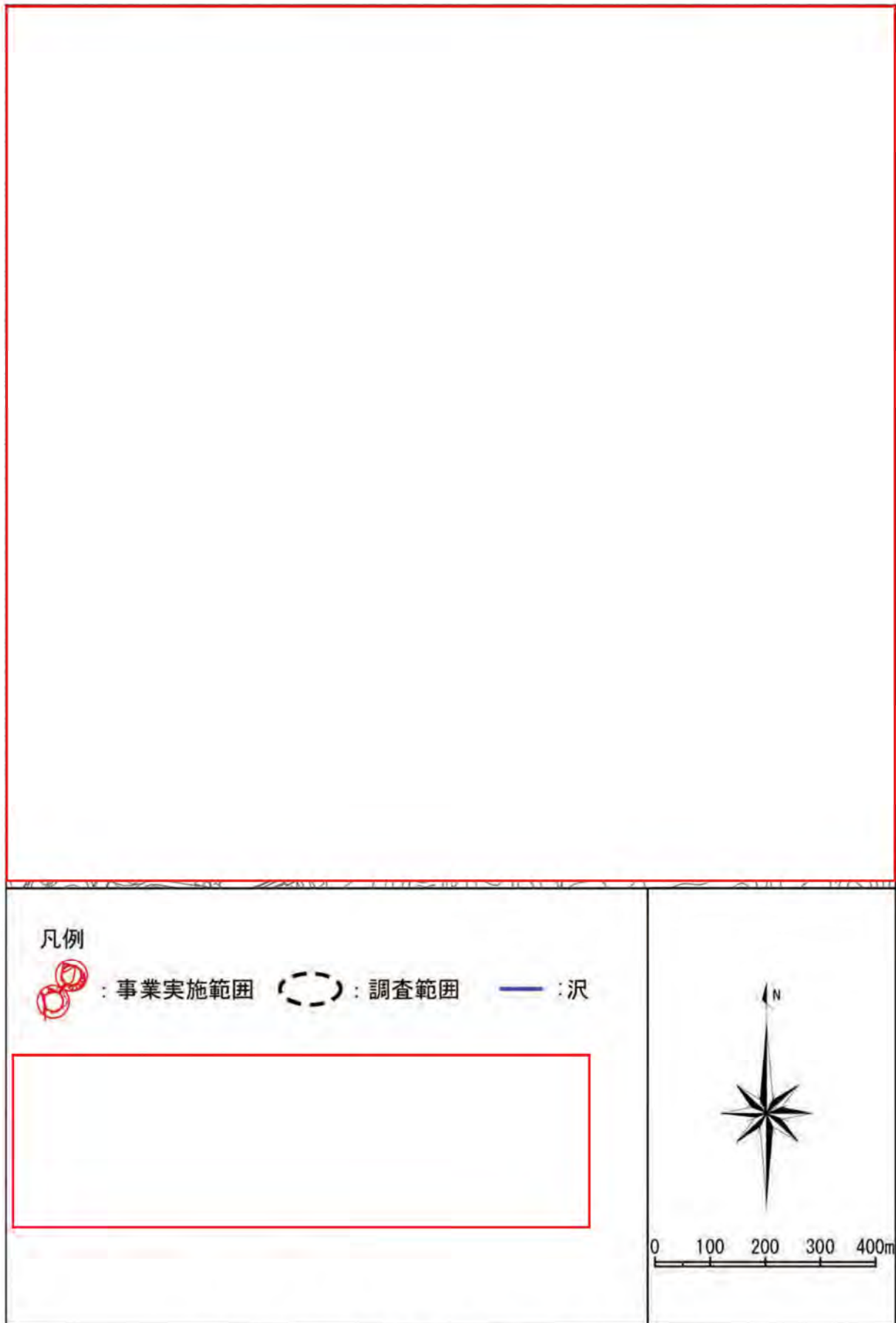


図 6.1.4-4(5) 貴重な動物種の確認位置 (N-1 地区 : 昆虫類)

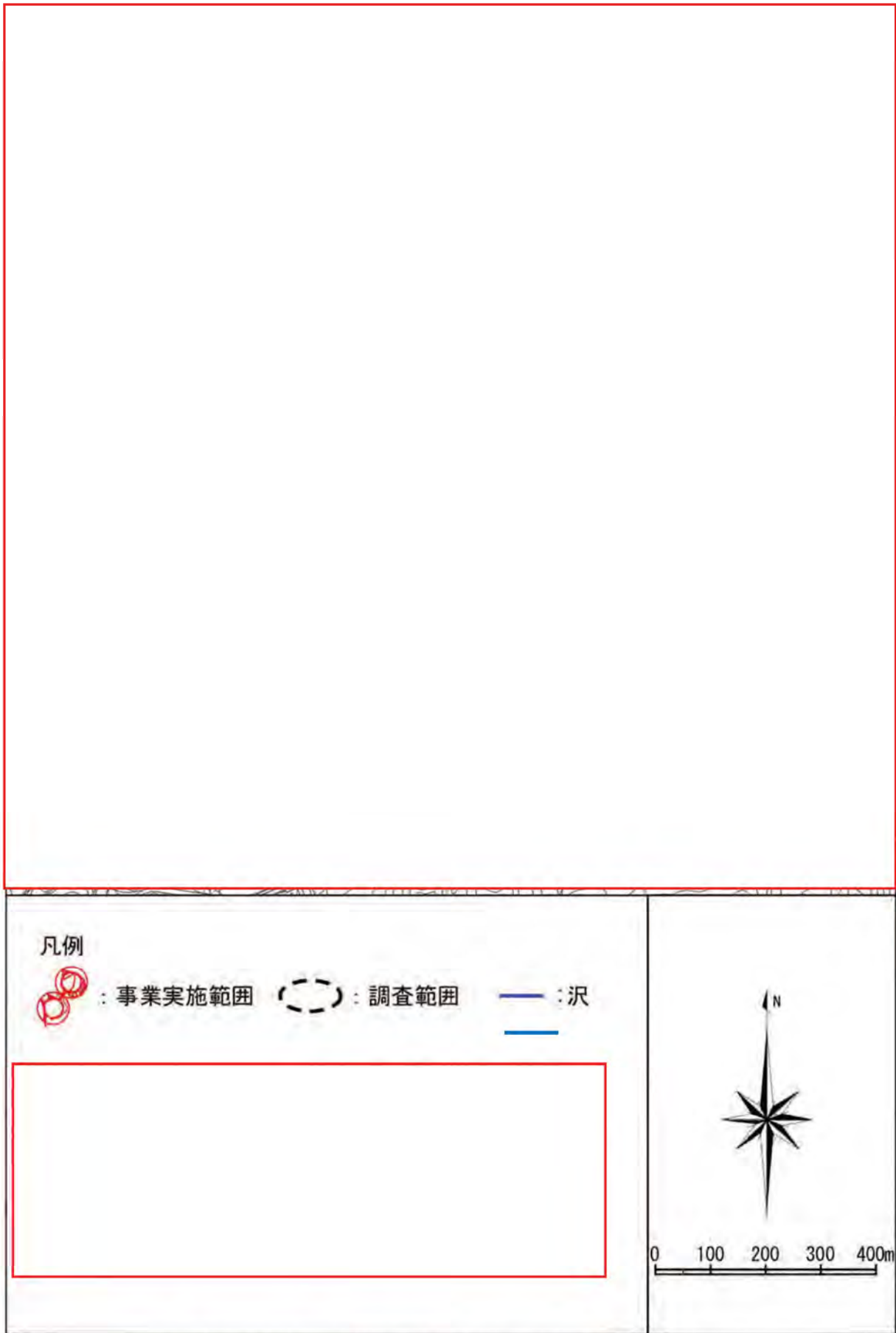


図 6.1.4-4(6) 貴重な動物種の確認位置(N-1 地区：陸産貝類)



図 6.1.4-5(1) 確認された貴重な動物種



図 6.1.4-5(2) 確認された貴重な動物種



図 6.1.4-5(3) 確認された貴重な動物種